

科目番号	54021	分類	専門科目 保健医療福祉政策論	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	
科目名	公衆衛生関連法規 (Domestic Law in Public Health)					1	
						配当セミナー	
						前期	
担当者	○明石眞言 他2名	区分	必修	単位	2	時間数	
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 日本国憲法を始めとして、公衆衛生看護の分野に関連した法律や制度について学び、保健師として地域づくりを推進するために必要な法制度に関する知識を習得する。					○ 1.多様な課題に対応する高度な実践力 2.地域住民の自立を支える統合的支援能力 3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力 4.政策や保健事業を開発する能力 5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力 6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力		
授業計画							
回	内 容					担当教員	
第1回	公衆衛生と法律					明石 眞言 他2名	
第2回	我が国の保健福祉対策の変遷						
第3回	検討中						
第4回	公衆衛生関連法規の見取り図						
第5・6回	地域保健法・健康増進法						
第7・8回	我が国の母子保健対策の変遷						
第9・10回	児童福祉法・母子保健法・母体保護法・次世代育成支援対策推進法						
第11・12回	我が国の老人保健福祉対策の変遷						
第13・14回	老人福祉法・介護保険法・高齢者医療確保法						
第15回	まとめ						
事前・事後 学習	事前学習：授業は学生のプレゼンテーションを中心に展開するため、事前に指定された課題についてまとめておくこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。						
評価の方法	授業への参加度 30%，筆記試験 70%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書 ・資料等	◎平野かよ子、山田和子、曾根智史、守田孝恵 編集 ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生第5版 メディカ出版 参考図書・資料等は適宜紹介する。						
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						